

**【施策評価調査】**

施策名	2-1-1	正しい食生活づくり		84	栄養バランスについて正しく理解し、実践します。 3食自分にあった量を食へ、適正体重を維持します。 1日1回は家族そろって食事をします。 生活習慣病の予防と改善のためには、正しい食習慣づくりの取り組みが必要となってきます。特にライフステージに併せた取り組みを実践していただくことが重要です。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当	健康づくり		住民、学校(保育園・幼稚園を含む)、関係団体、行政が協力して、健康に生活するための食に対する正しい知識の普及と理解に努め、推進会議を中心とした、食と農による人づくりを展開します。(高根沢町地域経営計画2006からの抜粋)
環境変化	食生活が乱れてきており、生活習慣病の増加やきれる子どもが増えている。	リーダー	荻原敏子		

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：食事を1日3回規則正しく摂る人の割合(%)	生活習慣調査:H16.9実施	計画	80.0%	82.0%	85.0%	87.0%	90.0%
	79.3%	実績	90.90%	89.40%	89.70%		
指標：自分の適正体重を維持するカロリーや食事内容を知っている人の割合(%)	生活習慣調査:H16.9実施	計画	20.0%	22.0%	25.0%	28.0%	30.0%
	18.3%	実績	34.20%	34.20%	66.10%		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,590,720	2,584,000	4,255,000		
決算	2,185,810	2,476,705	3,818,393			

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
食に関する知識の普及事業費	当初 2,036,000	食事を1日3食食べる人の割合	A	様々な機会を利用し食指導を行ったことにより、広く啓発することができた。健康維持における食の大切さを認識することができ、3食バランスよく食べる人が増えている。			
	決算 1,887,761	89.7% / 85%		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
食育地産地消推進事業費	当初 719,000	食育地産地消推進行動計画策定	A	町における食育、地産地消の推進に取り組むための行動目標と成果指標を示すことにより、学校・食育に関係する団体など、それぞれの立場で目標に向けた活動ができる。			
	決算 528,885	策定 / 策定		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
「簡単朝ごはんレシピ集」作成事業費	当初 1,500,000	簡単朝ごはんレシピ集作成	A	レシピ集の募集段階から食への関心を向けることができた。レシピ集をテキストとして、保護者への指導、授業での教材、等に活用でき、朝食の大切さを意識づけすることができる。			
	決算 1,500,732	3,000部 / 3,000部		今後の方向性(自己評価)	統合	今後の方向性(総合評価)	統合

**施策事後評価 20年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
指導を行う場や年代が広がり、多くの人に指導を実施することができた。学校の授業や親子活動でレシピ集が活用され、教材があることにより、栄養士や保健師以外でも指導することができた。食育、地産地消推進行動計画により、食に関する知識を広めることが明文化されたため、それぞれの立場で取組をはじめようになった。		今後様々な機会で食育の推進が行われていくのでそれぞれの活動内容を把握し、目標達成に向けた活動ができていくか検証していく必要がある。健康づくりのための食指導においては、レシピ集等の教材や紙芝居等の媒体を活用することにより、指導内容を統一していく。また、それらを活用することにより、先生や保育士、団体が自ら指導にあたるよう促し、様々な年代へ知識を普及できるよう進めていく。
総合評価	■ 総合評価 ■ 様々な取組みにより、意欲的に施策展開がされていると評価する。 ただし、農産物直売農家の活用や、体験活動に係る他課との連携が課題となるので、後期計画策定に向け、現状のデータを広く分析した上で、新しい推進体制のもと積極的な施策展開を期待する。	